

# 前OB会会長高木芳夫君を偲んで

平成24年6月9日

東北大学空手道部46卒同期一同

## 高木に関する報道(1)

2011年6月12日(日) 福島民友新聞  
大震災3ヶ月

・・・(前略)・・・壁だけが残った旧久ノ浜漁協跡の一階では、テーブルの上に男性の写真が置かれろそうく、線香がたかれていた。男性はいわき市議の高木芳夫さん(63)・・・(中略)・・・海に近い住宅街で「避難しろ」と叫んでいた姿を見た人がいたというのがその後、行方は分かっていない。・・・(中略)・・・京子さんも「今後のことがある」とこの日を区切りと「受け止めた」。しかし、葬儀は行わない。「家族としてはいつまでも待ち続けます」と話す。



## 2011年3月11日東日本大震災勃発 行方不明経緯

- 2011年3月11日東日本大震災勃発。大津波が久ノ浜を襲う。高木の行方が不明。
  - 高橋から「久ノ浜災害対策本部によると高木は行方不明らしい、ご家族はご無事で平に避難しているが連絡が取れないようだ」との情報(3/19)
  - 山内から「グーグル安否情報リスト(person-finder)で高木の名前で検索すると安否問い合わせの登録はあるが、無事との返事書き込みはない」との情報(3/21)
  - 木村から「"person-finder"で"高木大輔"というものが高木を探しているようだ」という情報(3/21)
  - 小谷からは「知り合いの地元国会議員に聞いたところ、高木は行方不明になっている」との情報(3/25)
  - 笠井が"person-finder"の"高木大輔"へのコンタクトを思いつき、e-mailでコンタクトすると、なんと"高木大輔"は高木のご長男(4/9)
- 4月13日、(高木の満63歳の誕生日)に東京八重洲地下"だるま"(小谷剛柴みの店)に同期が集まり、情報交換と今後の対応を協議
- 5月2日、木村、高橋、笠井が現地久ノ浜の高木が被災したと思われる現場を訪れ、高木の母君、奥様およびお嬢様にお会い当時の様子を伺った。
- 5月21日空手道部OB会総会で久ノ浜視察をもとに高木の行方不明の状況に参加者に報告

## 2011年6月18日合同慰霊祭

(主催:いわき市久ノ浜・久地区合同供養実行委員会)

6月18日地元被災者の合同慰霊祭が久ノ浜第一小学校で開催。同期の面々(真野OB会会長、浅野・岡庭・竹内OB会副会長、佐藤、安田(以上S45)、土門(S47)、鈴木(S48)、宮崎(S49)の各OBが参加

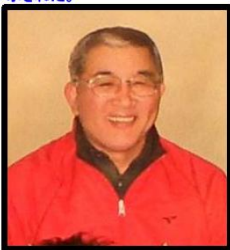


参加者は、体育館いっぱいになり、500名をはるかに超えた方々が、焼香に訪れました。遺族を代表して、高木前の奥様が、挨拶を述べられました。

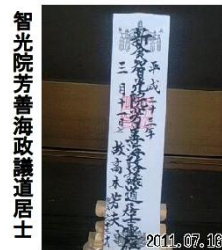
## 2011年7月16日葬儀

(親近者のみ)

7月1日に死亡が認定され7月16日(土)午前11時より久ノ浜自在院で葬儀が執り行われた。同期を代表し小谷と笠井が弔問した。また、OB会からは規定に基づく弔意(弔電)が示された。



還暦祝いの赤いジャケットを纏った遺影。津波で家の物はすべて流されたため選択肢は少なかったが、奥様はこの写真が大好きとっていました。

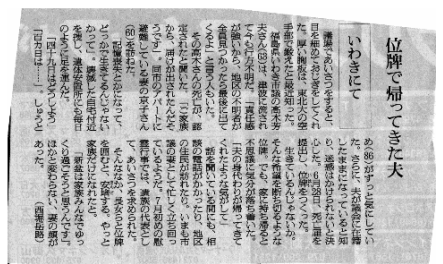


戒名は、「智光院芳善海政護道居士」空手道ならぬ「海政護道」は、漁を生業とし(海)、政ごとは議をもって為すを旨とした市議高木芳夫流(道)と解釈し、婦りの電車で小谷さんと酌をかわし語らう。

## 高木に関する報道(2)

朝日新聞 8月12日朝刊 東日本震災特集号  
「千の灯と千の風」位牌で帰ってきた夫

議場で挨拶をすると、目を細めておじぎをしてくれた。分厚い胸板は、東北大の空手部で鍛えたと最近知った。・・・(中略)・・・高木芳夫さん(63)は、津波に流されて今も行方不明だ。・・・(中略)・・・その高木さんの死亡が認定されて聞いた。・・・(中略)・・・「新盆は家族みんなでゆっくり過ごそうと思うんです。」ほかと変わらない、妻の顔があった。(西堀岳路)



## 2012年4月7日「高木芳夫君を偲ぶ会」

(主催:高木よしお後援会、いわき高校19回卒業生一同、東北大学空手道部46卒一同)

2012年4月7日「高木芳夫君を偲ぶ会」開催(参加者600人)。同期の面々、真野OB会会長、竹内、橋本両OB会副会長、東海林事務局次長、菅野OB会相談役、今田(S43)、土門(S47)、宮崎(S49)、戸塚(S49)の各OBが参加された。



- 挨拶(東北大学空手道部OB有志代表)
- 生花献花(東北大学空手道部OB有志)
- 尚武19号の展示・配布(希望者へ)



最後に高木の好きだった「故郷」を全員で合唱 ...志を果たして、いつの日にか帰らんよ

